

認定腎臓移植施設の認定条件変更に関する重要なお知らせ

日本腎臓学会理事長 柏原直樹

腎移植施設認定委員会委員長 西 慎一

2022年2月

認定腎臓移植施設責任者様

平素お世話になっております。日本腎臓学会所管の腎移植施設認定委員会より、重要なお知らせがございます。

3年に一度、施設認定更新を実施しております。2022年春には、更新時期を迎えます。今まで、「院内コーディネーター設置状況」が施設調査票の記載項目としてありました。これはレシピエントコーディネータ(RTC)を指しますが、必ずしも施設認定には必須項目ではありませんでした。

2021年末に、日本移植学会並びに日本臨床腎移植学会理事長名で、今後腎臓移植施設でもRTCの設置を必須項目として欲しいとの依頼がありました。これは、移植施設の診療レベル向上を全臓器移植において目指すための方策ということです。

そこで、腎移植施設認定委員会において、この件を議論いたしました。議論の結果として、次の結論となりました。

1. 腎移植施設の認定要件として、安全かつ質の高い移植医療を行うためにRTC設置を必須化する方向とする。
2. 2022年春の更新時に必須化することは現実的には全ての施設で対応は不可能と想定される。
3. 2022年時点の更新時から3年後の2025年次点更新までに、認定RTCあるいは院内指定RTCを設置することが腎移植施設認定要件として必須要件である。
4. RTC設置はできるだけ2022年時点から1~2年以内に完了することが望ましい。
5. 日本臨床腎移植学会および日本腎臓学会から、腎移植施設認定要件が変更されることを広報伝達する。
6. RTCの設置が2019年時に未完であった施設には、早めに認定条件が変更されることを伝達する。

貴施設に置かれましてRTCの設置がまだでありましたら早急に設置するようにお願いします。認定RTCが望ましいと考えますが、院内指定のRTCでもお認めする方針です。